

学童期検査追加調査の結果報告

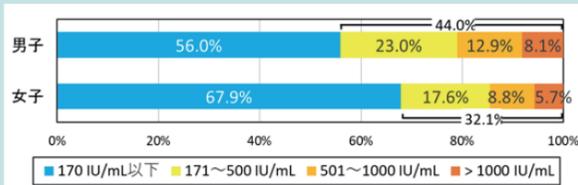
2019年度に学童期検査（小学2年生）に参加されたお子さんのうち、追加調査にご協力いただいたお子さん約400人について、アレルギー及び生活習慣病リスクに関する血液結果の一部を紹介します。

アレルギーの検査では、からだのアレルギーの状態をあらわす指標である総IgE値が標準値（170 IU/ml）を超えているお子さんの割合は男子44.0%、女子32.1%でした（図1(1)）。

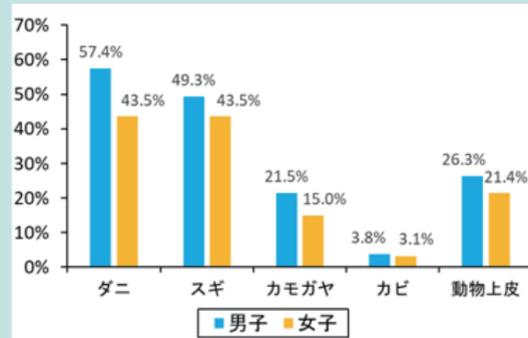
個別のアレルゲンに対する特異的IgEでは、約半数のお子さんはダニ、スギ花粉に対する抗体が陽性（クラス2以上）、約4分の1のお子さんは動物上皮（ネコ、イヌ、ハムスター）に対する抗体が陽性でした（図1(2)）。

図1 アレルギーに関する検査結果

(1) 総IgE



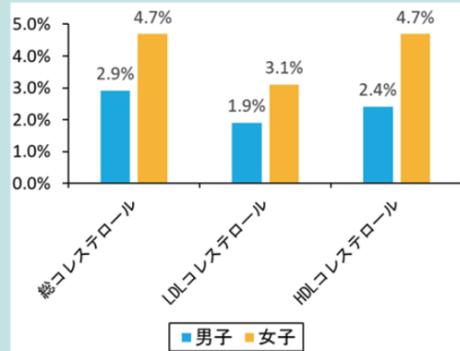
(2) 特異的IgE



各物質に対するアレルギー陽性（特異的IgE抗体がクラス2以上）の割合

コレステロールについては、総コレステロール、LDLコレステロールが標準値を超えているお子さんの割合は1.9～4.7%であり、HDLコレステロール（いわゆる“善玉”のコレステロール）が標準値未満のお子さんの割合は男子2.4%、女子4.7%であり、いずれも女子のほうがやや高率でした（図2）。

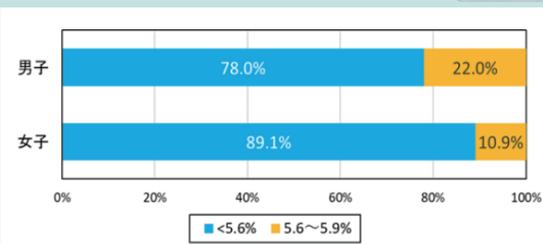
図2 コレステロールに関する検査結果



総コレステロール 220mg/dL以上、LDLコレステロール 140mg/dL以上、HDLコレステロール 40mg/dL未満の割合

検査前1～2か月間の血糖値をあらわす指標であるHbA1cについては、糖尿病（6.5%以上）または境界型糖尿病（6.0～6.4%）に該当するお子さんはいませんでした。肥満や脂質異常などがある場合に将来の糖尿病発症リスクが高いとされている5.6～5.9%のお子さんの割合は男子22.0%、女子10.9%でした（図3）。

図3 糖尿病（HbA1c）に関する検査結果



男女ともに6.0%以上の人はいませんでした

引き続き今後も調査で明らかになってきた結果を順次お伝えしていきます。

親子料理教室を開催しました

2020年2月8日（土）尼崎市女性センター・トシピエにてはち巻子（若生久美子）先生をお招きし料理教室を開催しました。今回作ったのはくまちゃんの『デコレーション巻きずし』略して『デコ巻き』です。

各自準備してきたエプロンと三角巾、マスクを着けたら準備完了。目の前に置かれた材料を先生の指示通りに作業を進めます。パーツごとに海苔で巻いていくため、まずは海苔をそれぞれの大きさに切り分けます。白いご飯にかつおぶしをまぶして出来上がったのは茶色いご飯、これがくまちゃんの顔と耳に。小分けされた酢飯はくまちゃんの口周りの部分、チーズは目、人参は鼻になります。これをそれぞれの大きさになった海苔で巻いていきました。

保護者の方に手際よくフォローしてもらいながら、パーツを合体させ海苔で表情を作って『デコ巻き』の完成！笑った顔やウインクした顔など、かわいくくまちゃんデコ巻きずしの出来上がり。家族へのお土産にと持ち帰ったり、その場で1つ食べてみたり。かわいだけでなく味も美味しいと喜んでいただけました。

兵庫ユニットセンターで初めて開催した料理教室でしたが、参加者さんの満足度も高く好評でしたので、ぜひまた次回も企画したいと思います。



公開講座を開催しました

2月15日（土）「尼崎市総合文化センター」にて、東京女子医科大学東医療センター小児科の杉原茂孝教授をお招きし、「エコチル調査公開講座」を開催しました。

まず、兵庫ユニットセンター長 島正えより「エコチル調査でわかってきたこと」について報告し、続いて大阪大学准教授の嶋寺光先生より「PM2.5濃度の把握と予測」についてご講演いただきました。



演いただきました。

杉原茂孝先生には「小児肥満症～将来子どもを糖尿病にしないために～」と題してご講演いただきました。からだの成り立ちなどの基本的なことから、肥満の基準とリスク、体質や環境の影響について、身近なものに例えてわかりやすくお話いただきました。また、具体的に実行しやすい運動プログラムなども紹介していただきました。講演終了後には参加者からの質問にも答えていただき、あっという間に予定終了時間となりました。

今後も子育ての悩みや疑問の解決につながるような講演会を企画したいと思います。

